



エコアクション21

認証番号 0012111

本社・仙台支店

写光オフィスパートナーズ大崎

エコアクション21 環境経営レポート

2022年度版
(2022年7月～2023年6月)

2023年8月25日発行
(2024年3月4日改訂)

項目	ページ
活動概要	1
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
対象事業所の概要	3
写光オフィスパートナーズ環境組織図	4
活動実績	5
主な環境負荷の実績	6
環境保全に関する具体的取り組み	6
2022年度中期環境経営計画	10
2022年度の取組結果	11
環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果、違反の有無	12
代表者による全体評価と見直しの結果	13
2022年度環境経営目標	14
2022年度の環境経営活動目標	15



活動概要

ごあいさつ

近年、日本は言うに及ばず、世界各地における異常気象のニュースに触れるにつけ、私たちの住むすばらしい星である地球が、あたかも悲鳴を上げ始めているかのような気持ちにかられます。

私たち、写光オフィスパートナーズ株式会社の社員一同は、2008年8月を皮切りに人と環境に調和した企業活動を進めてまいりました。

一人ひとりには小さな力ですが、小さな力を寄せ集め継続することが求められています。

私たちは将来にわたり人と環境に調和した、持続可能な企業活動を進めます。

代表取締役 庄子行宏

環境経営方針

写光オフィスパートナーズ株式会社は、その事業活動に関し、持続可能な発展と利益ある成長を目指し、会社運営の全ての面で人と環境に調和した企業活動を進めます。

1. 当社業務であるOA機器の販売・保守業務において、その全サイクルにわたる環境への配慮を目指し、技術的、経済的に可能な範囲で環境保護活動を行います。
2. PDCA(計画―実行―確認―改善処置)の展開を図り、環境面で常に業務の改善・向上を図ります。
3. 環境に関する法規制、及びその他の要求事項を遵守します。
4. 企業としての出来る対応策を常に見直し、使用済製品や包装材料などの回収、再資源化を推進します。

以上の環境方針を実行、維持し、全従業員及び利害関係者に周知するとともに、社外の要求に応じ公表します。

2023年8月1日

写光オフィスパートナーズ株式会社
代表取締役 庄子行宏

対象事業所の概要

1.組織名及び代表者氏名

写光オフィスパートナーズ株式会社
代表取締役 庄子 行宏

2.所在地

〒 984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東二丁目8番20号

3.環境管理責任者氏名ならびにEMS事務局連絡先

環境管理責任者 浅田 仁
EMS事務局 TEL 022(762)7441

4.事業内容

OA機器やオフィス家具の販売・リース・レンタル
上記商品消耗品の販売、保守サービス

5.各事業所の対象範囲

- ・本社（TCSセンター）
所在地：宮城県仙台市若林区卸町東二丁目8番20号
登録範囲：OA機器保守サービス等
- ・仙台支店・管理部
所在地：宮城県仙台市若林区新寺一丁目4番5号 ノースピア3階
登録範囲：OA機器販売・総務・管理
- ・写光オフィスパートナーズ大崎株式会社
所在地：宮城県大崎市古川穂波三丁目7番8号
登録範囲：OA機器保守サービス等

※東京支店は2023年度から対象範囲とする

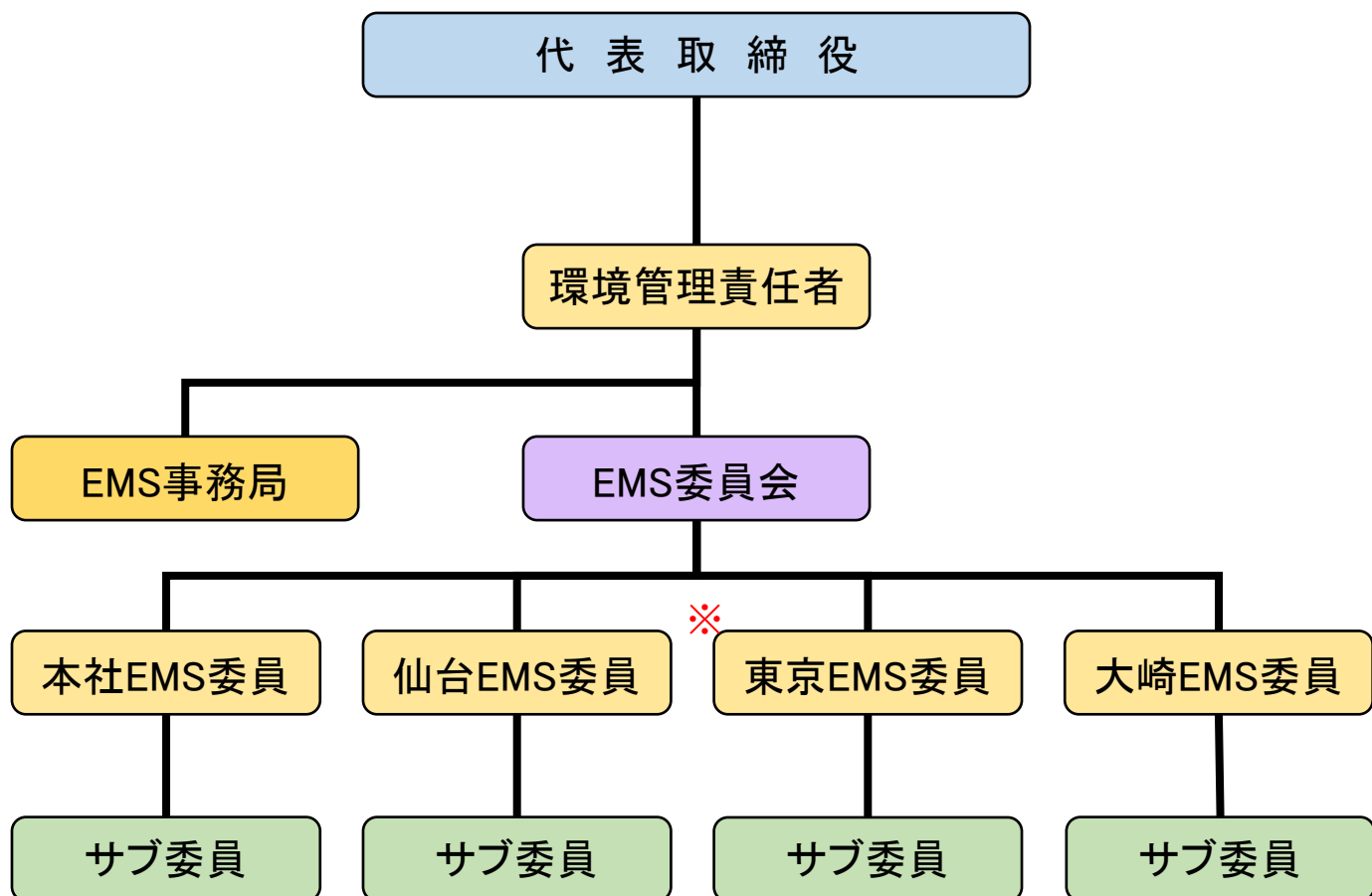
6.事業の規模

【事業年度7月～6月】

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	468	424	427
従業員	人	19	19	19
床面積	m ²	477.2	477.2	477.2

※22年度は東京支店の数値を除く。（23年度数値に追加予定）

写光オフィスパートナーズ 環境組織図



※ 東京支店は2023年度から対象範囲とする

EMS組織の役割

代表取締役	環境方針の設定、見直し、環境経営の方針展開、課題とチャンスの明確化、実施体制構築、全社員への周知、経営資源の用意
環境管理責任者	EMSの実施、維持の一連の業務、経営層への報告、EMS委員会の運営
EMS事務局	EMSの管理運用(全体)、環境マニュアルの作成、文書管理、スケジュール調整、教育、責任者への報告
EMS委員	環境管理責任者の支持のもと、自部署の環境マネジメント活動を運用推進し、その「まとめ・報告」を行う
EMSサブ委員	EMS委員の補佐、補完を行う
部署責任者	部門内での指導、EMS委員の支援、率先実行、目標設定の参加
社員全員	自覚と実行、記録



活動実績

主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	48,183	40,489	39,994
廃棄物排出量 一般廃棄物	t/年	0.217	0.193	0.181
廃棄物排出量 産業廃棄物	t/年	1.70	1.94	0.62
水資源投入量 総排水量	m ³ /年	69	69	68

※22年度は東京支店の数値を除く。（23年度数値に追加予定）

環境保全に関する具体的取組

2022年度の環境経営目標・計画

● 環境負荷項目の取組目標・実施計画

項目	単位	2022年度目標	備考
二酸化炭素排出量	Kg-CO2/年	58,696	18年度実績値
・電気使用量	kwh/年	46,872	18年度実績値
・ガソリン使用量	ℓ/年	17,671	18年度実績値
廃棄物排出量 一般廃棄物	t/年	0.220	18年度実績値
廃棄物排出量 産業廃棄物	t/年	3.451	18年度実績値
水資源投入量 総排水量	m ³ /年	75	18年度実績値

※ 二酸化炭素の算出は東北電力2020年度の購入電力の実排出係数0.457kg-CO2/kWhを使用
目標値は18年度実績比とし、±10%をその許容値とする。

◆実施計画（要旨）

《照明》

- ①こまめな点灯・消灯
- ②12～13時は全消灯

《室内温度》

- （夏季）26度以上
- （冬季）24度以下

※窓・ドアが開けられる環境の場合は
エアコンに頼らず積極的に開ける。

《水道》

出しっぱなしにせず、節水を心がける

《都市ガス：本社》

コントローラーの温度を36度に設定し使用
する。

《一般廃棄物》

- ①指定されたごみ箱等に廃棄する。
- ②廃棄物は計量後処理する。

《車両：ガソリン》

- ①省エネ運転を心がける。
- ②アイドリングストップを実施する。
- ③タイヤの空気圧を適正值に保つ。

■ グリーン購入法に基づき、環境物品調達の推進に向けて、通販カタログ利用によるグリーン商品購入率の目標値を70%とする。

◆実施計画（要旨）

カタログのグリーン商品マークを確認し購入する。

■ 営業部門の取組目標・実施計画

環境に配慮した商材の提案

項目	2022年度目標	備考
リスク回避に向けた提案活動の実施	100件	

※ 2020年度より活動目標を変更

◆実施計画（要旨）

メイン商材を掲げた提案活動の実施

- ①事務機器・防犯カメラ・LED照明・モバイル電源・空間清浄機・テレワーク関連ソリューション等をメインとした提案活動を実施。
- ②第一四半期までを提案活動と情報収集期間とし、第二四半期以降集計・検証を行う。
- ③提案案件に対する受注件数を集計する。

■ 技術部門の取組目標・実施計画

顧客満足度の向上

項目	2022年度目標	備考
計画的定期訪問の実施	1,332件	
KMJサービスチャンピオンシップツースターの維持	維持	

◆実施計画（要旨）

顧客満足度の向上

- ①ユーザーへの訪問時間連絡。
- ②顧客データを基に毎月訪問ユーザーを選定する。
- ③特価商材・ネットワーク関連商材の提案・情報収集。

■ その他の環境保全活動

・グリーン購入の推進

社内使用の物品購入については、環境配慮商品を積極的に取り入れ、環境負荷を低減するよう、努めております。

・仙台まち美化サポート・プログラムへの参加（本社）

仙台まち美化サポート・プログラムは、参加する団体と市が活動内容などについてあらかじめ覚書を交わし市が管理する道路や、公園などの清掃や除草等の活動を、ボランティアにより定期的・継続的に行うものです。

仙台市だけでなく、国をはじめとして、他の多くの自治体でも取り組みを始めており市民・事業者と行政のパートナーシップで取り組む、新しいまち美化システムとして注目されています。当社では2010年よりこのプログラムに参加して、清掃活動を行っております。

今後も当社は周辺地域の美化活動に貢献してまいります。



・周辺地域清掃活動（仙台支店・写光OP大崎）

仙台まち美化活動と同時に、仙台支店・OP大崎ではそれぞれの所在地周辺の清掃活動を定期的に行っています。

参加人員は管理職・一般社員の分け隔てなく、社員一丸となってこの活動に取り組んでおります。



・クールビズの実施

節電対策の一環として、5月から10月までを当社ではクールビズ期間と位置づけノーネクタイ・ノー上着を実施しております。

- ・事務所内照明・エアコン使用の適正化

昼休み時間はすべての照明・空調をOFF、執務時間中も、在席箇所のみの使用としており、節電に努めています。

- ・環境学習による社内啓蒙活動

各事業所ごとのルールによる、ゴミの分別方法や自動車の省エネ運転方法など、定期的に社員教育を行い、社員の環境保全に対する意識を維持向上できるように努めております。



- ・不要書類の整理、事務所内整頓

不要な書類や資料などを定期的、全社的に整理し、開いたスペースを利用することで、社内の整頓を維持しております。これにより、書類探しで時間をロスすることが減り省エネルギーに貢献できるとともに、きれいな事務所になることで、社員の気分転換にも一役買っています。



- ・避難訓練

年1回各拠点では避難訓練を実施し、社員への手順周知及び、避難経路・危険想定箇所の確認と修正を行っております。



- ・EMS（環境マネジメントシステム）委員会

各拠点には環境管理責任者の基、EMS委員を選任・配置して、全社員へのEMS活動の周知指導、及び運用を行っております。また、毎月EMS委員会を開催し、各部門ごとの進捗状況や改善提案などを確認検討し、実施項目に反映させてより良いEMSの運用、さらには本来業務の向上をめざしています。

● 2022年度中期環境経営計画

■ 環境負荷項目

項目	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	58,696	102,424	102,424
廃棄物排出量 一般廃棄物	t/年	0.220	1.169	1.169
廃棄物排出量 産業廃棄物	t/年	3.451	12.325	12.325
水資源投入量 総排水量	m³/年	75	75	75

※22年度は東京支店の数値を除く。（23年度以降数値に追加）

■ 営業部門環境経営目標

環境配慮商品の積極的な提案活動の推進

項目	2022年度	2023年度	2024年度
年度プログラム	100件	100件	100件
実施計画	ユーザーランクアップ	ユーザーランクアップ	ユーザーランクアップ

■ 技術部門環境経営目標

1.計画的定期訪問の実施

項目	2022年度	2023年度	2024年度
年度プログラム	1,332件	1,332件	1,332件
実施計画	計画的定期訪問	計画的定期訪問	計画的定期訪問

2.KMJサービスチャンピオンシップ（ツースター）の維持継続

項目	2022年度	2023年度	2024年度
年度プログラム	維持	維持	維持
実施計画	KMQS活用	KMQS活用	KMQS活用

2022年の取組結果

● 環境負荷項目

項目	単位	目標値	実績値	拠点別				評価
				本社	仙台	大崎	※東京（参）	
二酸化炭素排出量	Kg-co2/年	58,696	39,994	18,309	11,981	9,704	18,867	○
・電気使用量	kwh/年	46,872	32,529	15,064	15,884	1,581	18,349	○
・ガソリン使用量	ℓ/年	17,671	10,800	4,893	2,036	3,871	4,518	○
一般廃棄物排出量	t/年	0.220	0.181	0.114	-	0.067	0.275	○
産業廃棄物排出量	t/年	3.451	0.62	0.62	-	-	4.437	○
水資源投入量	m³/年	75	68	58	-	10	-	○

※ 二酸化炭素の算出は東北電力2020年度の購入電力の実排出係数0.457kg-CO2/kWhを使用
※ 拠点別 東京は参考値（2023年度7～12月実績値）

■ グリーン商品購入率

項目	目標値	実績値	評価
自社グリーン商品購入率	70.0%	72.5%	○

本年より目標値の見直し（75%⇒70%）を行いました。

■ 営業部門の取組環境経営目標 環境配慮商品の積極的な提案活動の推進

項目	目標値	実績値	評価
リスク回避に向けた提案活動の実施	100件	122件	○

■ 技術部門の取組環境経営目標 1.計画的定期訪問の実施

項目	目標値	実績値	評価
計画的定期訪問の実施	1,332件	1,332件	○

2.KMJサービスチャンピオンシップ（ツースター）の維持継続

項目	目標値	実績値	評価
KMJサービスチャンピオンシップ（ツースター）の維持	維持	ツースター維持	○

環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果・違反、訴訟等の有無

● 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価

環境法規等の名称	処置・評価等
環境基本法	理念に基づき、環境保全活動を推進した。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の減量に努め業者へ委託し適正に処理した。
循環型社会形成推進基本法	製品、容器等が循環資源となるよう努めた。
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律	グリーン購入に努めた。
環境物品等の調達の推進に関する基本方針	グリーン購入に努めた。
地球温暖化対策の推進に関する法律	アイドリングストップ等自動車のエコ運転に努めた。

※上記は環境関連法規の抜粋であり、すべての項目を記したものではありません。

● 違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。なお、関連当局よりの違反の指摘は過去10年ありません。

代表者による全体評価と見直しの結果

弊社のEMS活動は、「目標管理による全員参加の改善体制作り」を目的として2008年から取り組んでおりますが、いわゆる「紙・ゴミ・電気」の削減のみならず、弊社の本来業務である「OA機器の販売とメンテナンス」に関わる目標を織り込み、PDCAサイクルを回すことで今日まで活動してまいりました。

当期の取組結果は、従業員の努力によりすべて達成することができました。来年度も、この結果に甘んじることなく、この取り組みが組織の本来業務の手順・仕組みの効率化に寄与できるよう取り組んでまいります。

2023年 7月
写光オフィスパートナーズ株式会社
代表取締役 庄子行宏



2023年度 環境経営目標

2023年度環境経営活動目標・計画

● 環境負荷項目の目標

項目	単位	目標値	地区別目標値	
		目標値	仙台地区	東京地区
二酸化炭素排出量	Kg-CO2/年	102,424	58,696	43,728
・電気使用量	kwh/年	91,260	46,872	44,388
・ガソリン使用量	ℓ/年	27,679	17,671	10,008
一般廃棄物排出量	t/年	1.169	0.220	0.949
産業廃棄物排出量	t/年	12.325	3.451	8.874
水資源投入量	m ³ /年	75	75	-

※ 二酸化炭素の算出は2020年度の購入電力の実排出係数0.457kg-CO2/kWhを使用

◆実施計画（要旨）

《照明》

- ①こまめな点灯・消灯
- ②12～13時は全消灯

《都市ガス：本社》

コントローラーの温度を36度に設定し使用する。

《室内温度》

- （夏季）26度以上
（冬季）24度以下

※窓・ドアが開けられる環境の場合は
エアコンに頼らず積極的に開ける。

《一般廃棄物》

- ①指定されたごみ箱等に廃棄する。
- ②廃棄物は計量後処理する。

《水道》

出しっぱなしにせず、節水を心がける

《車両：ガソリン》

- ①省エネ運転を心がける。
- ②アイドリングストップを実施する。
- ③タイヤの空気圧を適正値に保つ。

■ 営業部門の取組環境経営目標

環境配慮商品の積極的な提案活動の推進

項目	目標値	備考
リスク回避に向けた提案活動の実施	100件	

◆実施計画（要旨）

メイン商材を掲げた提案活動の実施

- ①事務機器・防犯カメラ・LED照明・モバイル電源・空間清浄機・テレワーク関連ソリューション等をメインとした提案活動を実施。
- ②第一四半期までを提案活動と情報収集期間とし、第二四半期以降集計・検証を行う。
- ③提案案件に対する受注件数を集計する。

■ 技術部門の取組環境経営目標

1.計画的定期訪問の実施

項目	目標値	備考
計画的定期訪問の実施	1,332件	

2.KMJサービスチャンピオンシップ（ツースター）の維持継続

項目	目標値	備考
KMJサービスチャンピオンシップ（ツースター）の維持	維持	

◆実施計画（要旨）

顧客満足度の向上

- ①ユーザーへの訪問時間連絡。
- ②顧客データを基に毎月訪問ユーザーを選定する。
- ③特価商材・ネットワーク関連商材の提案・情報収集。



写光オフィスパートナーズ株式会社

EMS事務局

TEL 022 (762) 7441